

# 地球温暖化問題に関する県民アンケート

令和4年1月  
青森県環境生活部

## 県民のみなさまへ

日頃から環境行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、地球温暖化の問題は人類共通の課題として、世界中で様々な取組が進められており、国家レベルの取組だけではなく、家庭・事業者・行政など全ての立場の人々が協力しながら進めていくことが重要となります。

青森県では、温暖化対策を県民、事業者、行政が一体となって推進するための「青森県地球温暖化対策推進計画」を平成30年に改定しましたが、令和3年の国における地球温暖化対策推進法改正や地球温暖化対策計画改定等を踏まえ、令和4年度中に本県計画の見直しを行うこととしています。

計画の見直しでは、県民の皆さまの地球温暖化問題に対する意識や関心、地球温暖化防止のための取組状況などを把握し、本県の地球温暖化対策に反映させることとしています。このための基礎調査の一環として、各市町村のご協力のもと、県内にお住まいの20歳以上の2,000名の皆さまを無作為に選ばせていただき、地球温暖化問題に関するアンケート調査をお願いすることとなりました。なにとぞアンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は、地球温暖化対策推進計画策定の基礎資料として統計的に活用するほかには、個別調査票自体の公表や、調査目的以外の利用はいたしません。

### <ご記入上のお願い>

#### 1 記入者について

このアンケートは個人を対象にしていますので、原則として、宛名の方がご記入ください。事情により宛名の方がご記入できない場合は、ご家族のどなたかがご記入くださるようお願いいたします。

#### 2 記入方法について

- (1) 各設問には、<1つ>、<3つまで>、<あてはまるすべて>などと回答数を指定しています。それぞれの説明に従って、調査票にご記入ください。
- (2) 鉛筆又はボールペンで、はっきりとわかりやすくご記入ください。

#### 3 提出について

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、**1月31日(月)**までにポストにご投函くださいますようお願いいたします。切手を貼る必要はありません。

#### 4 お問い合わせ先

このアンケートについてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

青森県 環境生活部 環境政策課 地球温暖化対策グループ

担当：木村 <sup>きむら</sup> 崇 <sup>たかし</sup> 電話：017-734-9243

あなたご自身のことについておうかがいします。

あてはまる番号を○で囲んでください。

(1) 年 齢	1. 20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代
	4. 50 歳代	5. 60 歳代	6. 70 歳代以上

  

(2) 職 業	1. 給与所得者（会社員や公務員）	2. 自営業
	3. 農林漁業	4. 無職
	5. 専業主婦・主夫	6. 学生

  

(3) お住まいの 住宅の種類	1. 一戸建	2. アパートなどの共同住宅
--------------------	--------	----------------

I 地球温暖化問題についてお聞きします。

問 1. あなたは、地球温暖化※1 問題について、どの程度関心をお持ちですか。あなたの考えに最も近いものを、1 から 5 までの中から 1 つ選び番号を○で囲んでください。

また、「とても関心がある」、「関心がある」と答えた方は、問題だと思ふ地球温暖化の影響について、問 1-1 のあてはまるすべての番号を○で囲んでください。同じく、関心がある地球温暖化対策について、問 1-2 のあてはまるすべての番号を○で囲んでください。

1. とても関心がある
2. 関心がある

←こちらのお答えの方は  
次のページもお答えください

3. あまり関心がない
4. 関心がない
5. わからない

【参考情報】

※1 地球温暖化

化石エネルギーの消費などにより二酸化炭素を始めとする温室効果ガスの濃度が増加し、地球の平均気温が上昇すること。地球全体で大規模な気候変動や海面上昇などを引き起こし、人の健康や生態系に大きな影響を与えること。

問 1 - 1.

1. 農作物の品質や収穫量の低下、漁獲量が減少すること
2. 洪水、高潮・高波などによる気象災害が増加すること
3. 豪雨や暴風による停電や交通まひなどインフラ・ライフラインに被害が出ること
4. 野生動物や植物の生息域が変化すること
5. 熱中症が増加すること
6. 生活環境の快適さが損なわれること
7. 気象災害による工場の被災など社会・経済に被害が発生すること
8. デング熱などの蚊を媒介とする感染症が増加すること
9. 渇水が増加すること
10. 水質が悪化すること

問 1 - 2.

1. 再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、バイオマスなど）の利用
2. 化石燃料から再生可能エネルギーへの転換の推進
3. エネルギーの地産地消・面的利用の促進
4. ビルなど建築物の省エネルギー化
5. 省エネルギー性能の高い設備・機器の導入促進
6. 脱炭素に資する製品・サービスの選択をはじめとする身近な場面での取組を通じた  
ライフスタイルの転換
7. 住宅の省エネルギー化
8. 次世代自動車の普及、燃費改善等
9. スマートムーブの促進
10. 廃棄物焼却量の削減
11. フロン類使用製品のノンフロン化
12. 温室効果ガス吸収源対策としての森林整備
13. 環境教育の促進・県民運動の推進

問2. あなたは、次の①から⑦までの考え方について、どのような感想をお持ちですか。あなたの感想に最も近いものを1から4までの中から1つずつ選び番号を○で囲んでください。

環境問題への意識	とても そう思う	そう 思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
①将来の環境のことを考えると心配だ	1	2	3	4
②地球温暖化問題は自分にも影響がある問題だと思う	1	2	3	4
③ものの無駄づかいをしたり、大量のごみを出したりする今の生活は、改めた方がよい	1	2	3	4
④自分も環境を悪化させている一人である	1	2	3	4
⑤地球温暖化問題についてもっと知りたい	1	2	3	4
⑥地球温暖化防止のために積極的に行動したい	1	2	3	4
⑦環境を守ると社会全体が豊かになる	1	2	3	4

問3. あなたは、地球温暖化問題に関する情報をどこから入手していますか。よく入手する項目を3つまで選び、番号を○で囲んでください。

1. テレビ・ラジオから
2. 新聞や雑誌から
3. 国、県、市町村のホームページなどから
4. SNS※2やメールマガジンなどから
5. 国、県、市町村の広報誌やパンフレットから
6. 家族や友人、知人から
7. 企業の広告、広報誌、パンフレット、環境報告書から
8. 書籍から
9. コンビニなど地域の流通業者から
10. 勤務先、取引先など仕事を通じて
11. 環境保護団体、環境NGOの広報誌やパンフレットから
12. ボランティア活動など社会活動を通じて
13. シンポジウムや講演会、市民大学などから

【参考情報】

※2 SNS

Facebook、YouTube、Instagram、tiktokなど、登録された利用者同士がインターネット上で交流できる会員サービスのこと。ソーシャル・ネットワーキング・サービス。

II 地球温暖化防止のための配慮行動についてお聞きします。

問4. あなたが日常生活の中で取り組んでいる地球温暖化防止のための配慮行動について、おたずねします。次の①から⑳までの取組について、あなたの状況に最も近いものを1から4までの中から、1つずつ選び、番号を○で囲んでください。

また、「実行する予定はない」と答えた方は、実行を妨げる主な理由を、下欄から選び番号をご記入ください。

(1) 日常生活上の配慮行動に関すること

行 動 内 容	ほぼ 実行して いる	ときどき 実行して いる	今後実行 したい	実行する 予定はな い	妨げる主 な理由
① unnecessary照明はこまめに消す	1	2	3	4	( )
② 冷暖房器具を使用する際、使用時間や設定温度に気をつける	1	2	3	4	( )
③ 掃除機やエアコンのフィルターを定期的に清掃する	1	2	3	4	( )
④ テレビやラジオなどを付けっぱなしにしない	1	2	3	4	( )
⑤ 待機電力を消費する製品は、使わないとき主電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜く	1	2	3	4	( )
⑥ 冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けない	1	2	3	4	( )
⑦ 洗濯はできるだけまとめ洗いをする	1	2	3	4	( )
⑧ 家族で風呂に入るとき、時間をあけずに入る	1	2	3	4	( )
⑨ シャワーの使用回数、使用時間を短縮する	1	2	3	4	( )
⑩ 窓への断熱シート貼付けやドアへの隙間テープ貼付けをする	1	2	3	4	( )
⑪ 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る	1	2	3	4	( )
⑫ 食品ロスを出さないように気をつける	1	2	3	4	( )
⑬ 資源ごみは分別して回収に出す	1	2	3	4	( )
⑭ 生ごみをたい肥化する	1	2	3	4	( )
⑮ 不用品は友人にゆずったり、交換したり、フリーマーケットで販売するなどしてリサイクルする	1	2	3	4	( )
⑯ 買い物はマイバッグの持参によりレジ袋を使用しない	1	2	3	4	( )
⑰ 使い捨て製品（紙コップ等）は使わない	1	2	3	4	( )

実行を妨げる理由（1つ選び、番号を上欄にご記入ください。）

- |                     |             |            |
|---------------------|-------------|------------|
| 1. 生活の便利さ・快適さが損なわれる | 4. 手間がかかる   | 7. 特に理由はない |
| 2. 生活習慣を変えたくない      | 5. 効果に疑問がある |            |
| 3. 費用がかかる           | 6. つい忘れてしまう |            |

(2) 家電・家庭用品などの購入に関すること

行 動 内 容	ほぼ 実行して いる	ときどき 実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定はな い →	妨げる主 な理由
⑱家電製品は省エネ性能の高いものを選んで購入する	1	2	3	4	( )
⑲詰め替えがある商品を使用する	1	2	3	4	( )
⑳古紙を使ったトイレトペーパーを使用する	1	2	3	4	( )
㉑環境問題に積極的に取り組んでいる企業の商品・サービスを選ぶようにする	1	2	3	4	( )
㉒食料品を購入する際は、できるだけ県産品を選ぶ	1	2	3	4	( )

↑  
実行を妨げる理由（1つ選び、番号を上欄にご記入ください。）

- |                     |             |            |
|---------------------|-------------|------------|
| 1. 生活の便利さ・快適さが損なわれる | 4. 手間がかかる   | 7. 特に理由はない |
| 2. 生活習慣を変えたくない      | 5. 効果に疑問がある |            |
| 3. 費用がかかる           | 6. つい忘れてしまう |            |

問5. あなたが、問4の項目のような地球温暖化防止のための取組を進める中で、支障となることはありますか。あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

1. 地球温暖化の影響を実感できないため取組の必要性を感じない
2. 地球温暖化防止のための情報が少ない
3. 現在のライフスタイルを変えるのは難しい
4. 負担を伴う取組に抵抗を感じる
5. 特に支障を感じていない

Ⅲ 住宅の省エネルギー化についてお聞きします。

問6. あなたが現在お住まいの住宅の省エネルギー化について、現在の導入状況と今後の予定をおたずねします。次の①から⑥までの各項目について、あなたのご家庭の状況に最も近いものを、1から3までの中から1つずつ選び、番号を○で囲んでください。

また、「導入する予定はない」と答えた方は、導入を妨げる主な理由を下欄から選び、番号をご記入ください。

住宅設備等の種類	すでに導入している	今後導入したい	導入する予定はない	導入を妨げる主な理由
①高効率の給湯設備（エコキュート等）	1	2	3	( )
②断熱材	1	2	3	( )
③ペアガラス、二重サッシ	1	2	3	( )
④太陽熱温水器	1	2	3	( )
⑤太陽光発電	1	2	3	( )
⑥LED照明器具	1	2	3	( )



導入を妨げる主な理由（1つ選び、番号を上欄にご記入ください。）	
1. 費用負担が大きい	4. 設置後のメンテナンスが面倒（負担になる）
2. 現在の住宅には導入できない	5. 既存設備の更新がもったいない
3. 効果に疑問がある	6. 特に理由はない

問7. 住宅の省エネルギー化を導入するに当たって、あなたはどのようなことを知りたいと思いますか。主なものを3つまで選び、番号を○で囲んでください。

1. 技術的な知識
2. 関係法令や支援制度
3. 改修に必要な費用
4. 相談できる窓口
5. 省エネルギー化に対応できる施工業者
6. 改修により得られる二酸化炭素の削減量
7. 改修により得られる光熱費等の削減効果

IV 公共交通機関の利用状況や自家用車等に関することをお聞きします。

問8. 次の①から④までの外出目的における交通手段について、あなたの状況に最も近いものを1から5までの中から1つずつ選び、番号を○で囲んでください。

なお、通勤の機会がない、近距離等により交通手段が徒歩の場合など、該当しない項目については、何も記入しないでください。

種類	概ね公共交通機関を利用	どちらかと言えば公共交通機関を利用	どちらとも言えない	どちらかと言えば自家用車を利用	概ね自家用車を利用
①通勤時	1	2	3	4	5
②通院時	1	2	3	4	5
③買い物	1	2	3	4	5
④レジャー	1	2	3	4	5

問9. 自動車の運転に関する地球温暖化対策についておたずねします。あなたが現在取り組んでいる対策について、あてはまるすべての番号を○で囲んでください。ただし、日頃自動車を運転しない方は、何も記入しないでください。

1. 近くの用事はなるべく徒歩か自転車で行く
2. できるだけ自動車より公共交通機関を利用する
3. 車には不要なものを積んだままにしない
4. タイヤの空気圧など定期整備を心がける
5. 運転時は急発進、急加速、空ぶかしをしない
6. 不要なアイドリングをやめる
7. 次世代自動車※3を購入・リースする
8. カーシェア・レンタカーを利用する

【参考情報】

※3 次世代自動車  
電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車など

V 再生可能エネルギー電力の購入に関してお聞きます。

問 10. あなたは、再生可能エネルギー電力を購入していますか。

また、「購入していない」と答えた方は、その理由について、あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

1. 購入している

2. 購入していない

1. 供給の安定性に不安があるから

2. 価格の安定性に不安があるから

3. 手続きが面倒そうだから

4. 相談できる窓口がないから

5. 今よりも料金が高くなるから

6. メリットが分からないから

7. 知人・友人等が購入していないから

8. マンションやアパート等に入居していて、自分では購入を決定できないから

9. その他（具体的に：

）

地球温暖化に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

(環境配慮行動について)

(住宅の省エネルギー化について)

(交通関係について)

(再生可能エネルギーについて)

(その他)

ご協力ありがとうございました。

なお、返送にあたっては、同封の封筒に三つ折りにして入れてください。

ちきゅうおんだんかもんだい  
地球温暖化問題に関するアンケート  
(児童・生徒用)

ちょうさ  
【調査ご協力のお願い】

このアンケートは、地球温暖化※1について、ふだんどのように考えているのかを調べるために行うものです。

アンケートは、地球温暖化の防止のために役立てることにしています。ご協力をお願いします。

令和4年1月  
青森県環境生活部

きにゅう  
<記入に当たって>

- 1 このアンケートは、青森県の小学生、中学生、高校生のみなさんを対象に行っています。
- 2 このアンケートは、個人の名前を書かないで行いますので、だれが書いたのかはわからないようになっています。思ったままを回答してください。
- 3 質問は、番号に○をつけるものと、( ) の中に番号を選んで記入するものがあります。

【参考情報】

※1 地球温暖化

石油や石炭などを燃やすことで、二酸化炭素を始めとする温室効果ガス（地球をあたためる効果のあるガス）の濃度が増えて、地球の平均気温が上がることで地球全体で気候の変化などを引き起こし、人の健康などに大きな影響を与えること。

# あなた自身について教えてください

あなたご自身のことについておたずねします。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 小学生

2. 中学生

3. 高校生

## 地球温暖化問題への<sup>かんしん</sup>関心について

問1. あなたは、地球温暖化問題について、どのくらい関心がありますか。あなたの考えに最も近いものを、1から5までの中から1つ選び番号を○で囲んでください。

また、「とても関心がある」、「関心がある」と答えた方は、問題だと思う地球温暖化の<sup>えいきょう</sup>影響について、あてはまるすべての番号を○で囲んでください。

- 1. とても関心がある
- 2. 関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. 関心がない
- 5. わからない

- 1. 農作物の品質や収穫量の低下、水産物の漁獲量が減少すること
- 2. 洪水、高潮・高波などによる気象災害が増加すること
- 3. 豪雨や暴風による停電や交通まひなどの被害が出ること
- 4. 野生動物の生活している場所や植物の生えている場所がなくなったり、変化したりすること
- 5. 熱中症が増加すること
- 6. 生活環境が快適でなくなること
- 7. 気象災害による工場の被災など社会・経済に被害が発生すること
- 8. 蚊によって広がる感染症が増加すること
- 9. 水不足が増加すること
- 10. 水質が悪化すること

# 地球温暖化問題について

問2. あなたは、①から⑦までの考え方について、どのように思いますか。あてはまるものを1つ選び番号を○で囲んでください。

環境問題への意識	とても そう思う	そう 思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
①将来の環境のことを考えると心配だ	1	2	3	4
②地球温暖化問題は自分にも影響がある問題だと思う	1	2	3	4
③ものの無駄づかいをしたり、大量のごみを出したりする今の生活は、改めた方がよい	1	2	3	4
④自分も環境を悪化させている一人である	1	2	3	4
⑤地球温暖化問題についてもっと知りたい	1	2	3	4
⑥地球温暖化防止のために積極的に行動したい	1	2	3	4
⑦環境を守ると社会全体が豊かになる	1	2	3	4

問3. あなたは、地球温暖化問題に関することをどこから見聞きしていますか。よく見聞きするものを3つまで選び、番号を○で囲んでください。

1. テレビ・ラジオから

2. 新聞や学習雑誌から

3. マンガから

4. 本から

5. 学校の授業や先生から

6. 家族、親せきから

7. インターネットから

8. その他 ( )

# 地球温暖化防止のための行動について

問 4. あなたがふだんの生活の中で、地球温暖化を防ぐために行っていることについてお聞きします。  
①から⑬までについて、あなたが行っていること・考えていることに最も近いものを1から3  
までの中から1つずつ選び、番号を○で囲んでください。

また、「実行するつもりはない」を選んだときは、実行できない理由を下から選び番号を記入してください。

行 動 内 容	実行して いる	今後実行 したい	実行する つもりは ない	実行 できない 理由
①使っていない照明はこまめに消す	1	2	3	( )
②冷房器具（エアコン、扇風機など）や暖房器具（ストーブ、こたつなど）を使用するとき、使用時間や設定温度に気をつける	1	2	3	( )
③テレビやゲーム機、パソコンなどの電源をつければなしにしない	1	2	3	( )
④テレビやエアコンなどは、使わないとき電源プラグをコンセントから抜く	1	2	3	( )
⑤家族で風呂に入るとき、時間をあけずに入る	1	2	3	( )
⑥シャワーの回数、時間を短くする	1	2	3	( )
⑦資源ごみ（雑紙やプラスチックなど）は分別して回収に出す	1	2	3	( )
⑧食べ残しをしない	1	2	3	( )
⑨不用品は友人にゆずったり、交換するなどしてリサイクルする	1	2	3	( )
⑩使い捨て製品（紙コップ等）は使わない	1	2	3	( )
⑪買い物の際はマイバッグを用意し、レジ袋を使わない	1	2	3	( )
⑫環境問題について友人や家族と話し合う	1	2	3	( )
⑬環境関連のイベントなどに積極的に参加する	1	2	3	( )

実行できない理由（1つ選び、番号を上のカッコ内に記入してください。）

- |                    |             |             |
|--------------------|-------------|-------------|
| 1. 生活の便利さ・快適さがなくなる | 3. 手間がかかる   | 5. つい忘れてしまう |
| 2. 生活習慣を変えたくない     | 4. 効果に疑問がある | 6. 特に理由はない  |

問5. 問4で1つでも「実行している」と回答した人に質問します。

あなたが、そのようなことを始めたきっかけは何ですか。あてはまるものの番号に、いくつでも○をつけてください。

1. 環境問題に関心があったから(自分から進んで)
2. 家族、親せきがやっていたから。家族、親せきに言われたから
3. 友達がやっていたから
4. 学校で環境について勉強したから
5. 地域の行事に参加したから
6. その他

問6. 問4で1つでも「実行している」と回答した人に質問します。

あなたが、そのようなことをしたとき、どのように思いましたか。あてはまるものの番号に、いくつでも○をつけてください。

1. 気持ちがよかった
2. <sup>めんどろ</sup>面倒だった
3. <sup>つか</sup>疲れた
4. 家族や友人にもやるように伝えたいと思った
5. 世の中にとって良いことをしたような気持ちになった
6. あたりまえのことをしたと思った
7. その他

ご協力ありがとうございました。



# 地球温暖化問題に関する事業者アンケート

令和4年1月  
青森県環境生活部

## 事業者のみなさまへ

日頃から環境行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、地球温暖化の問題は人類共通の課題として、世界中で様々な取組が進められており、国家レベルの取組だけではなく、家庭・事業者・行政など全ての立場の人々が協力しながら進めていくことが重要となります。

青森県では、温暖化対策を県民、事業者、行政が一体となって推進するための「青森県地球温暖化対策推進計画」を平成30年に改定しましたが、令和3年の国における地球温暖化対策推進法改正や地球温暖化対策計画改定等を踏まえ、令和4年度中に本県計画の見直しを行うこととしています。

計画の見直しでは、県民、事業者の皆さまの地球温暖化問題に対する意識や関心、地球温暖化防止のための取組状況などを把握し、当県の地球温暖化対策に反映させることとしています。このための基礎調査の一環として、県内で事業活動を行っておられる、従業員数50人以上の事業所約500箇所を選ばせていただき、地球温暖化問題に関するアンケート調査をお願いすることとなりました。なにとぞアンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は、地球温暖化対策推進計画策定の基礎資料として統計的に活用するほかには、個別調査票自体の公表や、調査目的以外の利用はいたしません。

### <ご記入上のお願い>

#### 1 記入方法について

- (1) 各設問には、<1つ>、<3つまで>などと回答数を指定しています。それぞれの説明に従って、調査票にご記入ください。
- (2) 鉛筆又はボールペンで、はっきりとわかりやすくご記入ください。

#### 2 提出について

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、**1月31日(月)**までにポストにご投函くださいますようお願いいたします。切手を貼る必要はありません。

#### 3 お問い合わせ先

このアンケートについてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

青森県 環境生活部 環境政策課 地球温暖化対策グループ

担当：木村 きむら 崇 たかし 電話：017-734-9243

貴事業所の概要についておうかがいします。

下記の（１）～（２）について、お答えください。

（１）貴事業所の業種はどれにあてはまりますか。該当する番号を○で囲んでください。

（複数の場合は主たる業種を１つお選び下さい）

- |                  |                                 |           |
|------------------|---------------------------------|-----------|
| 1. 農林水産業         | 2. 鉱業・建設業                       | 3. 製造業    |
| 4. 電気・ガス・水道業     | 5. 運輸・通信業                       | 6. 卸売・小売業 |
| 7. 宿泊業・飲食サービス業   | 8. 金融・保険業、不動産業                  |           |
| 9. 生活関連サービス業・娯楽業 | 10. 医療・福祉                       |           |
| 11. その他サービス業     | 12. その他（                      ） |           |

（２）貴事業所の従業員規模について、該当する番号を○で囲んでください。

1. 100人未満
2. 100人以上150人未満
3. 150人以上200人未満
4. 200人以上300人未満
5. 300人以上

貴事業所の地球温暖化問題に対する考え方や取組状況等についてお伺いします。

問1. 地球温暖化問題について、どの程度関心をお持ちですか。貴事業所のお考えに最も近いものを、1から5までの中から1つ選び番号を○で囲んでください。

1. とても関心がある
2. 関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない
5. わからない

問2. 地球温暖化防止に向けた行動について、どのようにお考えですか。貴事業所のお考えに最も近いものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 積極的に取り組む
2. 自社で取り組めることから行動する
3. 他の事業者の行動にあわせる
4. 今すぐ地球環境が悪化するわけではないので、しばらく様子を見る
5. わからない

問3. 地球温暖化防止に向けた取組について、事業者としてどんな取組が必要だとお考えですか。次の中から貴事業所のお考えに最も近いものを3つまで選び、番号を○で囲んでください。

1. 風力発電や太陽光発電など二酸化炭素排出の少ないクリーンエネルギーの使用を進める
2. 事業を行うにあたってエネルギーの効率的な利用を進める
3. ごみの減量化やリサイクルを進める
4. 吸収源対策として事業所敷地内の緑化等を進める
5. 環境に関する社内教育を充実させる
6. 環境に関する取組を広く一般に提供する
7. 環境に関する他社の取組などを積極的に取り入れる
8. その他（具体的に： )

問4. 貴事業所では地球温暖化防止のために、温室効果ガスの排出量やエネルギー使用量の削減に向けた目標を定め、取組を実行していますか。あてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

また、「実行している」を選んだ場合、設定目標の根拠の内容についてもお答えください。

- 1. 数値目標を設定して実行している
- 2. 取組の方向性を設定して実行している
- 3. 現在検討中である
- 4. 実行する予定はない
- 5. わからない



<p>設定目標の根拠</p> <p>(<u>1つ</u>選び番号を○で囲んでください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 環境マネジメントシステムにおける目標</li> <li>2. 自主行動計画策定団体における目標</li> <li>3. 省エネ法における削減の目標</li> <li>4. 自社の独自の目標</li> <li>5. その他（具体的に：  ）</li> </ul>
---	--

問5. 貴事業所では、地球温暖化対策に関する情報をどこから入手していますか。よく入手する項目を3つまで選び、番号を○で囲んでください。

- 1. テレビ・ラジオから
- 2. 新聞や雑誌から
- 3. インターネットから（SNSを含む）
- 4. 書籍から
- 5. 国、県、市町村による情報媒体、研修会から
- 6. 一般財団法人省エネルギーセンターによる情報媒体、研修会から
- 7. その他団体によるメールマガジン、定期購読物、研修会から
- 8. 関連会社、グループ会社から
- 9. 取引先など他業者から

問6. 貴事業所が取り組んでいる地球温暖化防止のための配慮行動についてお伺いします。次に示す項目について、貴事業所での状況に最も近いものを1から4までの中から1つずつ選び、番号を○で囲んでください。また、「実行する予定はない」と答えた項目については、実行を妨げる主な理由を、次のページ下の「実行を妨げる理由」欄から選び番号をご記入ください。（関連しない項目については、記入しなくて結構です。）

(1) 製品などの購入等に関すること

行 動 内 容	ほぼ 実行して いる	ときどき 実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない →	実行を妨 げる理由
①環境問題に積極的に取り組んでいる企業の商品・サービスを選ぶようにする	1	2	3	4	( )
②OA機器等は省エネ性能の高いものを選んで導入する	1	2	3	4	( )
③コピー用紙には再生紙を使用する	1	2	3	4	( )

(2) 省エネルギーに関すること

行 動 内 容	ほぼ 実行して いる	ときどき 実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない →	実行を妨 げる理由
④昼休みの照明はほとんど消す	1	2	3	4	( )
⑤冷暖房器具を使用する際、使用時間や設定温度に気をつける	1	2	3	4	( )
⑥パソコンやコピー機等の待機電力を減らす	1	2	3	4	( )
⑦建物・作業所の断熱化を図る	1	2	3	4	( )

(3) 資源の利用に関すること

行 動 内 容	ほぼ 実行して いる	ときどき 実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない →	実行を妨 げる理由
⑧コピー用紙の使用量を減らす（両面コピー等）	1	2	3	4	( )
⑨使い捨て製品（紙コップ等）は使わない	1	2	3	4	( )
⑩包装・梱包の削減、再利用をすすめる	1	2	3	4	( )
⑪紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別回収する	1	2	3	4	( )

(4) 自動車の利用に関すること

行 動 内 容	ほぼ 実行して いる	ときどき 実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない	実行を妨 げる理由
⑫省エネ輸送システムの導入を図る	1	2	3	4	( )
⑬エコドライブに努める	1	2	3	4	( )
⑭従業員のノーマイカー通勤を推奨する	1	2	3	4	( )

(5) 緑化その他に関すること

行 動 内 容	ほぼ 実行して いる	ときどき 実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない	実行を妨 げる理由
⑮事業所内や周辺の緑化に努める	1	2	3	4	( )
⑯環境に関する従業員研修・セミナー、保全活動を実施・参加する	1	2	3	4	( )

(6) 工場の省エネルギー等に関すること (工場、作業場をお持ちの場合のみご記入ください)

行 動 内 容	実行して いる	今後実行 したい	実行する 予定は ない	実行を妨 げる理由
⑰コージェネレーションシステム※1を導入する	1	2	3	( )
⑱省エネのため製造工程や製造ラインを改善する	1	2	3	( )
⑲熱・電気エネルギーの適正制御に努める	1	2	3	( )
⑳排熱を有効に利用する	1	2	3	( )
㉑温室効果ガス排出の少ない燃料へ転換する	1	2	3	( )
㉒廃棄物を有効に利用する	1	2	3	( )

実行を妨げる理由 (1つ選び、番号を上欄にご記入ください。)

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. 便利さ・快適さが損なわれる     | 4. 利益につながらない |
| 2. 従業員などの理解・協力が得られない | 5. 効果に疑問がある  |
| 3. 費用がかかる            | 6. 特に理由はない   |

【参考情報】

※1：コージェネレーションシステム (Cogeneration System) とは、発電と同時に発生した廃熱も利用して、給湯・暖房などを行うエネルギー供給システム。

問7. 地球温暖化防止に向けた取組・制度等についての関心の有無をお伺いします。貴事業所では、①から⑱までの対策等について関心をお持ちですか。該当する番号を○で囲んでください。また、「関心がある」とお答えいただいた項目については現在の対応状況を、「関心がない」とお答えいただいた項目については、その主な理由を下欄から選び、番号をご記入ください。

地球温暖化防止に向けた取組・制度等	関心の有無			
	関心がある	現在の対応状況	関心がない	関心がない理由
①事業所における電力使用量やエネルギー使用量の「見える化」	1	( )	2	( )
②省エネルギーセンターによる省エネルギー診断サービス	1	( )	2	( )
③県の事業を活用した省エネルギー診断	1	( )	2	( )
④エネルギー管理士等の専門家の活用	1	( )	2	( )
⑤エネルギーマネジメントシステム（BEMS <sup>※2</sup> 、FEMS <sup>※3</sup> 、CEMS <sup>※4</sup> ）の導入	1	( )	2	( )
⑥ESCOサービス <sup>※5</sup> の利用	1	( )	2	( )
⑦木質ペレット・ボイラーの利用	1	( )	2	( )
⑧バイオ燃料（BDF等）の利用	1	( )	2	( )
⑨風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギー <sup>※6</sup> の自社導入	1	( )	2	( )
⑩再生可能エネルギー電力の購入	1	( )	2	( )
⑪LED等の高効率照明の導入	1	( )	2	( )
⑫建物のZEB <sup>※7</sup> 化	1	( )	2	( )
⑬LCEM手法 <sup>※8</sup> の活用	1	( )	2	( )
⑭次世代自動車 <sup>※9</sup> の購入・リース	1	( )	2	( )
⑮RE100プロジェクト <sup>※10</sup> への参加	1	( )	2	( )
⑯ESG投資 <sup>※11</sup> への対応	1	( )	2	( )
⑰サーキュラーエコノミー <sup>※12</sup> への移行	1	( )	2	( )
⑱J-クレジット制度 <sup>※13</sup> への参加	1	( )	2	( )

関心がある場合の現在の対応状況 (現在の状況を選び、上の欄に番号を記入)	関心がない場合の理由 (主な理由を1つ選び、上の欄に番号を記入)
1. 導入済み 2. 導入に向けて検討中 3. 情報収集に止まっている	1. 便利さ・快適さが損なわれる 2. 従業員などの理解・協力が得られない 3. 費用がかかる 4. 利益につながらない 5. 効果に疑問がある 6. 特に理由はない

【参考情報】

※2：BEMS：Building Energy Management Systemの略称。

IT技術の活用により、業務ビルにおいて、室温や人が室内にいるか否かなどの室内状況をセンサー等によりリアルタイムに把握し、室内状況に対応した照明・空調等の最適な運転を可能にする等、業務ビルの省エネルギー管理を支援するシステム。エネルギーの状況を表示し、照明や空調等の機器・設備について、最適な運転の支援を行う。

※3：FEMS：工場エネルギー管理システム（Factory Energy Management System）の略称。

工場全体のエネルギー消費を削減するため、受配電設備のエネルギー管理や生産設備のエネルギー使用・稼働状況を把握し、見える化や各種機器を制御するためのシステム。エネルギー使用量を監視し、ピーク電力の調整や状況に応じた空調、照明機器、生産ライン等の運転制御等を行う。

※4：CEMS：Community Energy Management Systemの略称。

地域全体のエネルギーを管理するシステム。点在する太陽光発電や風力発電などの発電設備からの電力供給量と、地域での電力需要の管理を行う。

※5：ESCO（エスコ）サービス

工場やビルにおける省エネルギー診断、建物の改修計画の立案、効果の測定など、省エネルギー関連のサービスを提供する契約を顧客と結び、顧客の省エネルギーメリットの一部を報酬として受け取る事業。投資経費は、省エネルギーにより削減された経費で賄い、契約終了後はその経費が顧客のメリットとなる。

※6：再生可能エネルギー

自然界に存在する太陽光や太陽熱、水力や風力、バイオマス、地熱など繰り返し使用することが可能なエネルギー。

※7：ZEB：net Zero Energy Buildingの略称。

50%以上の省エネルギーを図った上で、再生可能エネルギー等の導入によりエネルギー消費量を更に削減した建築物。

※8：LCEM手法：Life Cycle Energy Management手法の略称。

建築物のライフサイクル（企画・計画、設計、施工、運用、改修）を通じて、省エネルギー性能の分析・評価を行い、省エネルギー・省CO2化を図る手法。

※9：次世代自動車

電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車等など。

※10：RE100プロジェクト：Renewable Energy 100%プロジェクトの略称。

事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで調達することを目標に取り組むこと。

※11：ESG投資

環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）の3つを考慮に入れた投資。

※12：サーキュラーエコノミー

「廃棄」されていた製品や原材料などを新たな「資源」と捉え、廃棄物を出さず資源を循環させる経済の仕組み。

※13：J-クレジット制度

省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

問8. 貴事業所において、問7で例示されたような取組・制度を導入し、また、スムーズに対応していくためには、特にどのような取組が必要だとお考えですか。必要だと考えられることを3つまで選び、番号を○で囲んでください。

1. 公共施設等での率先的な利用
2. 自治体のモデル事業的な取組
3. 知識や利用の方法などわかりやすい情報提供
4. 研修や講習会などの開催
5. 利用を促進するNPOなどの活動を支援
6. 助成制度や融資制度を整備
7. 技術開発による設備の機能向上やコスト削減

